



ましてや
チカンをしよう
なんて考えた事も
なかった



しかし
その日は徹く
明けて



俺はブータロー
毎日なんとなく
ブラブラ生きて
るから

あえて自分から
満員電車に乗る
うなんて思つた
事はなかった





は...
初めて見た
!!

へえ...
すげえ!



これって
もしかして
.....

痴漢!?



あ...
あんなオヤジが
あのコを...

なんだか
腹が立つ!
許せん!!

その時
俺の胸に
正体不明の
正義感が湧き
上がった!!



ニクニク





おおおお！



それは喜んで
神様が
「はい君の分だよ」

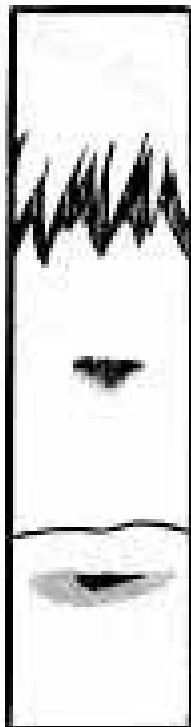
……と俺に
プレゼントを
くれたよな
そんな気がした



ゴッ



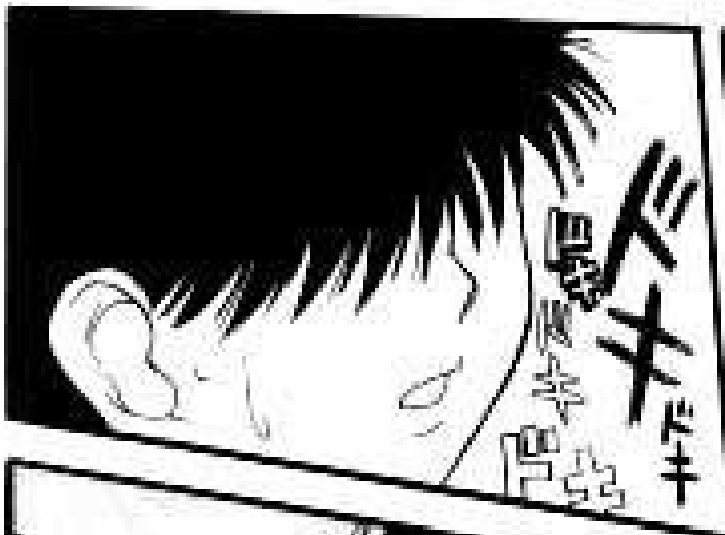
いいや
しかし
一時の劣情に
流されては……

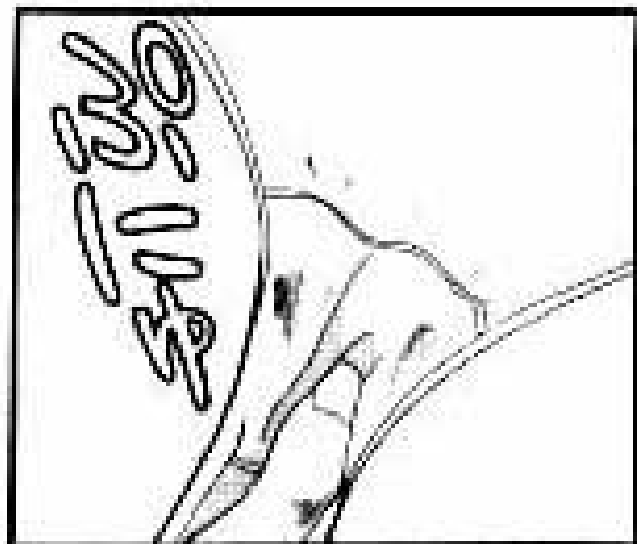


びゅーん

あああー！







俺の工手は
なつかしは
又し心な体肥



服の間にも
割と簡単に
手を入れる事が
できた

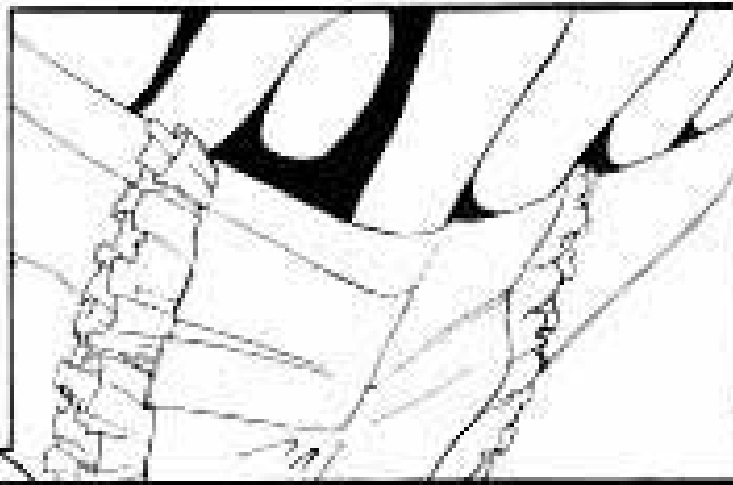


ただ
胸はあまり
なつかしは

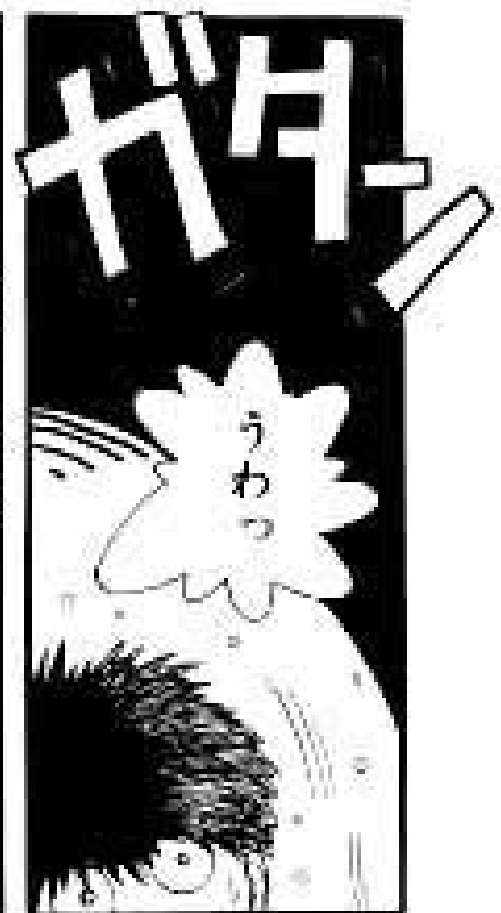
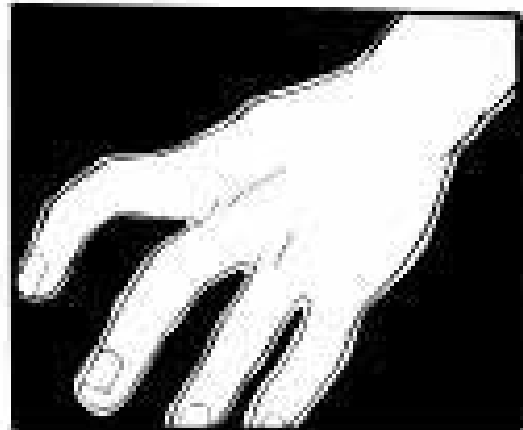
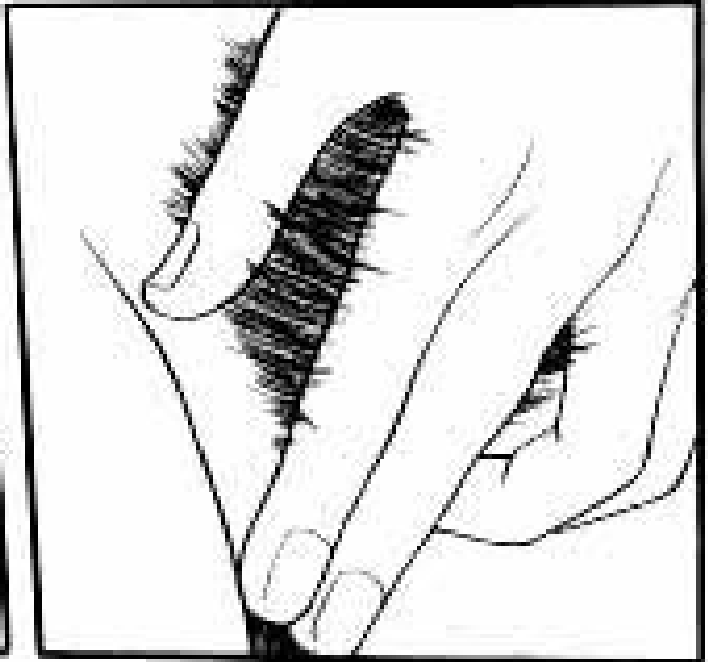
ハンター

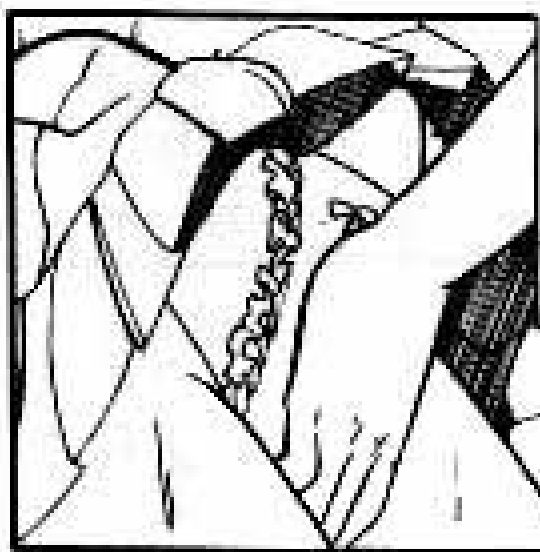


きつきはあんなに
腹の立つたオヤジ
だが、きつきは
妙な親近感が
湧いてくる



まあ、これは
楽しい事だ
きつきは、
きつきは、
きつきは、

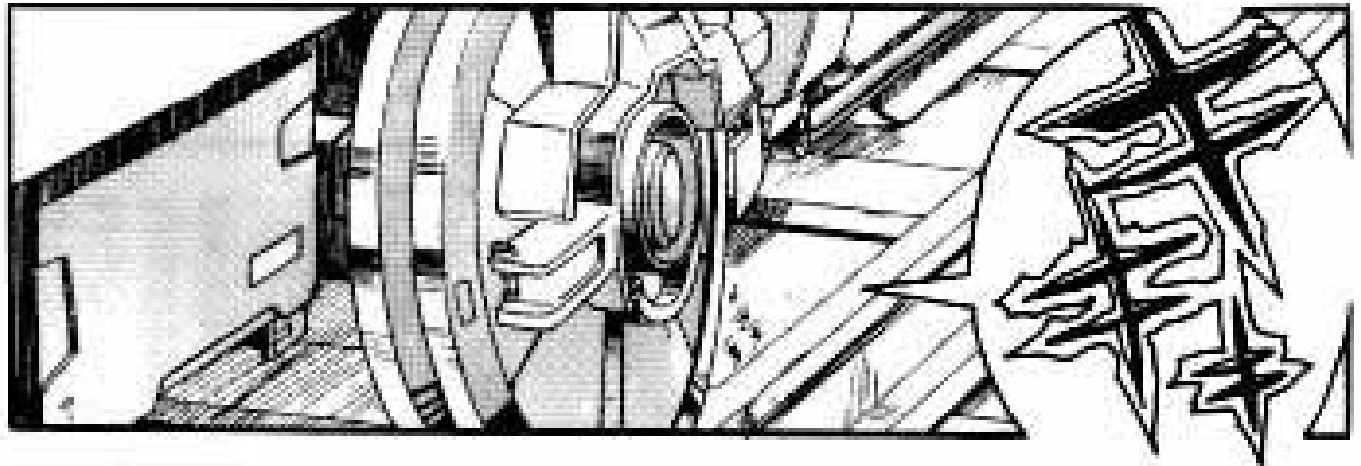
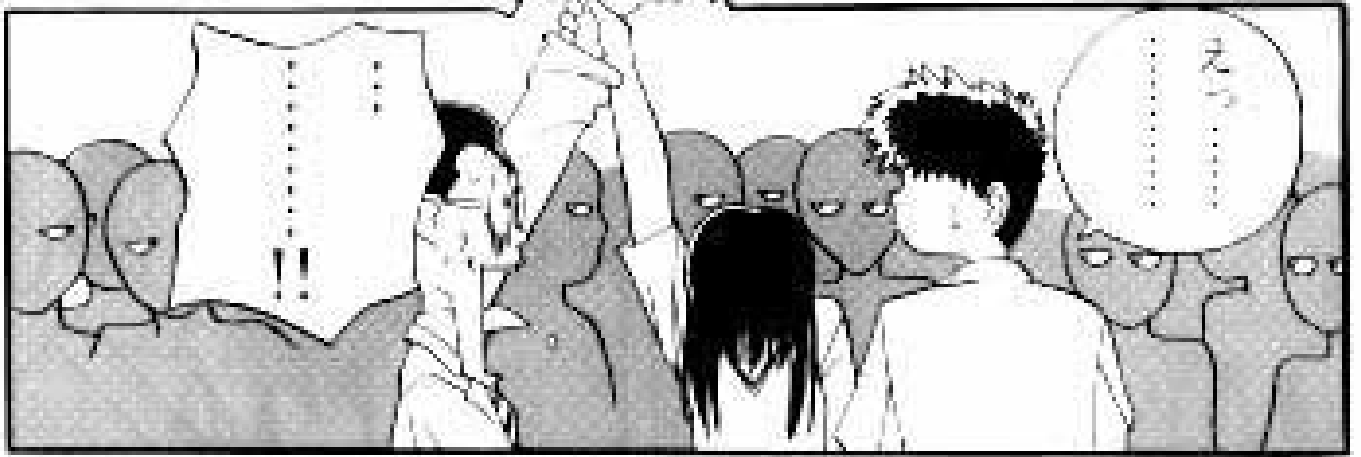




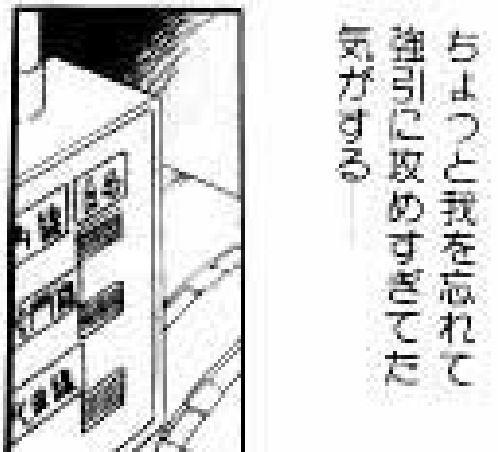
やつぱり
このクソオヤジ
とは相性が
悪すぎた

まったく
油断も
スキも
ねーな





何事も最初は
慎重にやらなけ
ればいけないと
いう教訓だった
よ……



ちよつと我を忘れて
強引に攻めすぎた
気がする



それにしては

実に安い
授業料だった
なあ

